

## 9 大学院と 4 社

### IT の実践講座



飛躍的な進歩を続けるコンピューターシステムやソフトの技術者を育成するため、来年4月から関西の国公立9大学の大学院と国内大手4社が共同で、大学院生を対象にした実践教育を行う講座を始める。

参加大学院は▽大阪大▽大阪工大▽京都大▽神戸大▽奈良先端科学技術大学院大▽和歌山大▽兵庫県立大▽高知工科大▽立命館大。

情報科学などの修士課程1年生を各大学院から計35人選抜。大阪大中之島センターで、2週間に1回、講義と演習を1年間開く。各大学院の教員のほか、一線

で活躍するトップから中堅クラスの技術者が講師を担当。基礎理論や、チーム作業の運営、プログラム作成などを教える。即戦力の養成が目標で、2009年度末まで実施する。

大阪大大学院の井上克郎教授は「関西のソフト産業で中核となる人材の供給と交流を図りたい」としている。

# 大阪トヨタ 運輸支局が警告口書

自動車販売大手「大阪トヨタ自動車」(旧大阪トヨペット)の架空販売・車庫飛ばし事件で、国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局は、「自動車登録制度に対する重大な侵害行為であり、社会的影響は大きい」として、同社の見谷敏二社長に警告書を手渡し、速やかに再発防止策を報告するよう指導した。

同社が9月25日と10月3日に支局に提出した報告書や大阪府警の捜査で、同社が不正に販売実績を上げることを目的に複数の販売店(名前を勝手に会社に明かして、自宅待機などの不利益を受けたり)として、警告の窓口となった弁護士(第2東京弁護士会所属)に対して懲戒請求の申し立て書類を、同弁護士会に送った。

弁護士は「告発に適正かつ誠実に対応した。懲戒請求されるようなことはしていない」としている。

# 病気で長期休職中 奈良県職員万引き

13日午前11時ごろ、奈良県橿原市葛本町の家電量販店で、同市四条町、県畜産技術センター総括研究員森田恭弘容疑者(55)が陳列中のデジタルカメラ(2万6000円相当)を盗み、乗用車で逃げたのを店員が目撃。榎原署が車のナンバーから森田容疑者を割り出して、出動していなかった。

森田は、自宅にいたところを窃盗の疑いで緊急逮捕された。森田容疑者は1975年に採用され、2002年11月9月、断続的に病気を取得。さらに03年2月から1年間と、今年6月3日以降も別の病気を理由にした休職と休職を繰り返していた職員の事情聴取を始める。休職者は奈良市環境清美部取集課の元職員(42)(懲戒免職)の長期休職問題で、市は近く、他に不自然な病気を理由に繰り返していた職員の事情聴取を始める。休職者は奈良市環境清美部取集課の元職員(42)(懲戒免職)の長期休職問題で、市は近く、他に不自然な病気を理由に繰り返していた職員の事情聴取を始める。休職者は

# 最期まで家族と一緒

第2部 在宅ホスピス

肩を上下させて呼吸する間隔が、徐々に長くなっていく。1時間前にピンク色だったつめもだんだん色を失っていった。最後に一つ、大きく息を吐くと、伊藤隆さん(74)は、旅立った。10月6日、東京・東大和市の都営住宅。妻の節子さん(69)と、長女の真理さん(44)が見守った。真理さんは「ああ、幸せな死に方をしてくれた」と思った。

# 夫婦の会話増え、毎晩添い寝

当時、伊藤さんは意味不明の言葉をつぶやく症状があった。入院していた病院からは「がんの脳転移かも知れない」と言われていた。

しかし、退院したその日に訪問した片桐院長は、伊藤さんを目にするなり、「痛み止めの薬が多すぎるね」。薬の量を減らすと、1週間ほどで、もとの伊藤さんに戻った。

その後の訪問診療で、副院長の片桐淳医師(53)が、新しい注射薬を痛み止めとして処方すると、伊藤さんの症状は劇的に改善した。体重が10キロも増え、寝たきりの生活から、好きなカラオケに毎日通えるまでになった。

4月に風呂場で転び、足の骨を折って以来、伊藤さんの体力は急に落ちた。食べ物も吐くようになった。

8月のある夜、寝る前に、伊藤さんが節子さんに向かって、「面白い顔だけど、そばにいてくれるとうれしいね」と、ぼつりと言った。節子さんは「怒るのも忘れて、『ああ、頼りにしてくれているんだ』とうれしかった。その日から毎晩、そばで寝た。

そして、10月6日。朝から「胸が苦しい」と言っていた伊藤さんは、節子さんが作ったみそ汁を一口飲んで、「おいしい」と言った。

厚過ぎ、片桐医師が様子を見に来た。伊藤さんは、子どもが甘えるような口調で、「先生、おしっこ」と言った後、意識を失った。

片桐医師は、偶然、実家に来ていた真理さんと節子さんに「あと1時間ももたないと思う。ここを離れちゃだめですよ」と言っていて、玄関を出た。家族だけで、最後の別れをしてもらうためだった。

午後1時5分、伊藤さんは息を引き取り、待機していた片桐医師が、すぐに戻って死亡診断書を書いた。看護師も駆けつけ、節子さんと真理さんが一緒に、伊藤さんの体を拭いた。

伊藤さんは、ときどきと処置をする片桐医師の訪問を毎週、心待ちにしていた。節子さんに「僕の命は片桐先生に預けた」と言った。

サラリーマン時代は「午前様」が当たり前、定年後は一人で晩酌するのを好んだ伊藤さんだが、在宅診療を受けるようになってからは、夫婦の会話も増えた。伊藤さんは、退院させた。

伊藤隆さんの遺影に語りかける妻、節子さん(右)と、長女の真理さん。「亡くなったのは悲しいけれど、家族にとって納得できる最期でした」

伊藤隆さんの遺影に語りかける妻、節子さん(右)と、長女の真理さん。「亡くなったのは悲しいけれど、家族にとって納得できる最期でした」

この連載へのご意見をお寄せ下さい。〒100-8055 (住所不要) 読売新聞 社会部 FAX03・3217・8363 shakai@yomiuri.com

伊藤隆さんが末期の肝臓がんと診断されたのは、2002年2月。入院先の病院で、「もう手のほどこしようがない」と言われ、ホスピスへの転院を勧められた。

節子さんは近くのホスピスを予約したが、「少しの間だけでも家に連れて帰りたい」と思い直し、在宅医療専門の「井尾クリニック」(東京・立川市)に相談した。夫婦二人暮らし。一人で夫を看病する不安もあったが、井尾和雄院長(54)から「大丈夫。家で過ごせます」と言われ、02年3月、節子さんは伊藤さんを退院させた。

# 夫婦の会話増え、毎晩添い寝

伊藤さんは、退院させた。その日の訪問した片桐院長は、伊藤さんを目にするなり、「痛み止めの薬が多すぎるね」。薬の量を減らすと、1週間ほどで、もとの伊藤さんに戻った。

その後の訪問診療で、副院長の片桐淳医師(53)が、新しい注射薬を痛み止めとして処方すると、伊藤さんの症状は劇的に改善した。体重が10キロも増え、寝たきりの生活から、好きなカラオケに毎日通えるまでになった。

伊藤さんは、ときどきと処置をする片桐医師の訪問を毎週、心待ちにしていた。節子さんに「僕の命は片桐先生に預けた」と言った。

サラリーマン時代は「午前様」が当たり前、定年後は一人で晩酌するのを好んだ伊藤さんだが、在宅診療を受けるようになってからは、夫婦の会話も増えた。



伊藤隆さんの遺影に語りかける妻、節子さん(右)と、長女の真理さん。「亡くなったのは悲しいけれど、家族にとって納得できる最期でした」

伊藤隆さんが末期の肝臓がんと診断されたのは、2002年2月。入院先の病院で、「もう手のほどこしようがない」と言われ、ホスピスへの転院を勧められた。

節子さんは近くのホスピスを予約したが、「少しの間だけでも家に連れて帰りたい」と思い直し、在宅医療専門の「井尾クリニック」(東京・立川市)に相談した。夫婦二人暮らし。一人で夫を看病する不安もあったが、井尾和雄院長(54)から「大丈夫。家で過ごせます」と言われ、02年3月、節子さんは伊藤さんを退院させた。

伊藤隆さんの遺影に語りかける妻、節子さん(右)と、長女の真理さん。「亡くなったのは悲しいけれど、家族にとって納得できる最期でした」

この連載へのご意見をお寄せ下さい。〒100-8055 (住所不要) 読売新聞 社会部 FAX03・3217・8363 shakai@yomiuri.com

この連載へのご意見をお寄せ下さい。〒100-8055 (住所不要) 読売新聞 社会部 FAX03・3217・8363 shakai@yomiuri.com

## 大学先 06

大阪人間科学大が現代GPシンポジウム「大学を『環境とアートのまちづくり拠点』に」を開催

21日午後1時30分～4時30分、摂津市民文化ホール。昌子住江・関東学院大教授が「キャンパスはまちの中」と題して基調講演。「まちの色彩」「まちづくりと快適な水辺環境」などをテーマに、環境工学の専門家や自治体の代表がパネルディスカッションを行う。入場無料。

問い合わせは同大学(☎06-6381-3000)へ。

関西大が「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ」を開催

25日午前10時～午後4時30分、高槻キャンパス大学院棟。中学生、高校生が対象。「異文化コミュニケーション」をテーマに、午前中、日本とアジアの暮らしなどについて、学生を交えグループ討議。午後からは、中国の大学とテレビ会議で結び、意見交換をするなど交流を深める。参加無料。定員30人。申し込みは郵送かFAX、電子メールで17日必着。

問い合わせは総合情報学部 久保田賢一教授(☎072-690-2419 FAX兼)へ。

## 9大学院と4社 ITの実践講座

飛躍的な進歩を続けるコンピューターシステムやソフトの技術者を育成するため、来年4月から関西の国公立9大学の大学院と国内大手4社が共同で、大学院生を対象にした実践教育を行う講座を始める。

参加大学院は▽大阪大▽大阪工大▽京大▽神戸大▽奈良先端科学技術大学院大▽和歌山大▽兵庫県立大▽高知工科大▽立命館大。

情報科学などの修士課程1年生を各大学院から計35人選抜。大阪大中之島センターで、2週間に1回、講義と演習を1年間開く。各大学院の教員のほか、一線で活躍するトップから中堅クラスの技術者が講師を担当。基礎理論や、チーム作業の運営、プログラム作成などを教える。即戦力の養成が目標で、2009年度末まで実施する。

大阪大大学院の井上克郎教授は「関西のソフト産業で中核となる人材の供給と交流を図りたい」としている。

日、長崎県西海市の大島アイランドホテル長崎で行われる。こままで2連勝の佐藤が勝って一気に竜王奪取

へ手をかけるのか、渡辺が巻き返すのか注目の一。対局の模様は、ヨミウオンラインで中継する。

◆30頭目BSE感染牛の乳牛(5歳4か月)がBSE(牛海綿状脳症)に感染していたと発表した。

◆押尾学さん、矢田亜希子さん結婚

俳優の押尾学さん(28)と、写真家・矢田亜希子さん(27)が13日、結婚届を提出した。矢田さんは所属事務所が二人連名のファクスで発表した。矢田さんは芸能活動を続けるという。

◆きょうから竜王戦第3局 将棋界の最高位を争う第19期竜王戦(読売新聞社主催)、渡辺明竜王(22)と挑戦者・佐藤康光棋聖(37)の七番勝負第3局は、15